

2016年度第1四半期 決算説明会

2016年7月28日
株式会社村田製作所

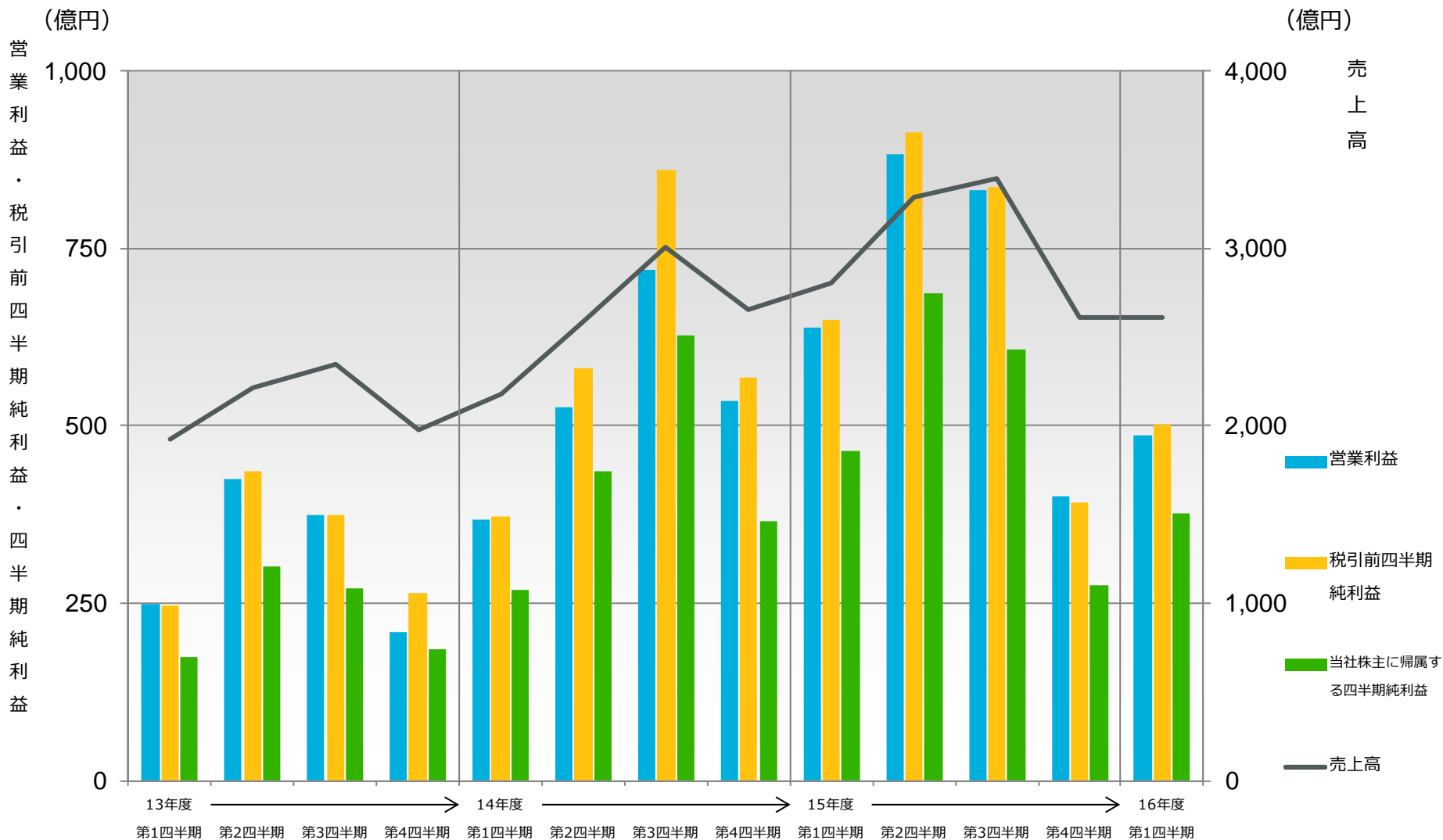


- 当第1四半期の売上高は自動車向け、中華圏スマートフォン向けが計画に対して堅調だったものの、特定顧客向けの売上の減少と為替の円高により計画未達となった。
- 営業利益は円高に伴う為替変動と将来の需要増加に対する設備投資、研究開発投資に伴う費用増加により、前年同期比24%の減少。営業利益率は同比4.1ポイント低下の18.7%。上期の業績予想に対する進捗率は39%。

1. 2016年度 第1四半期業績概要

2016年4月～2016年6月
第1四半期連結会計期間

業績推移（四半期）

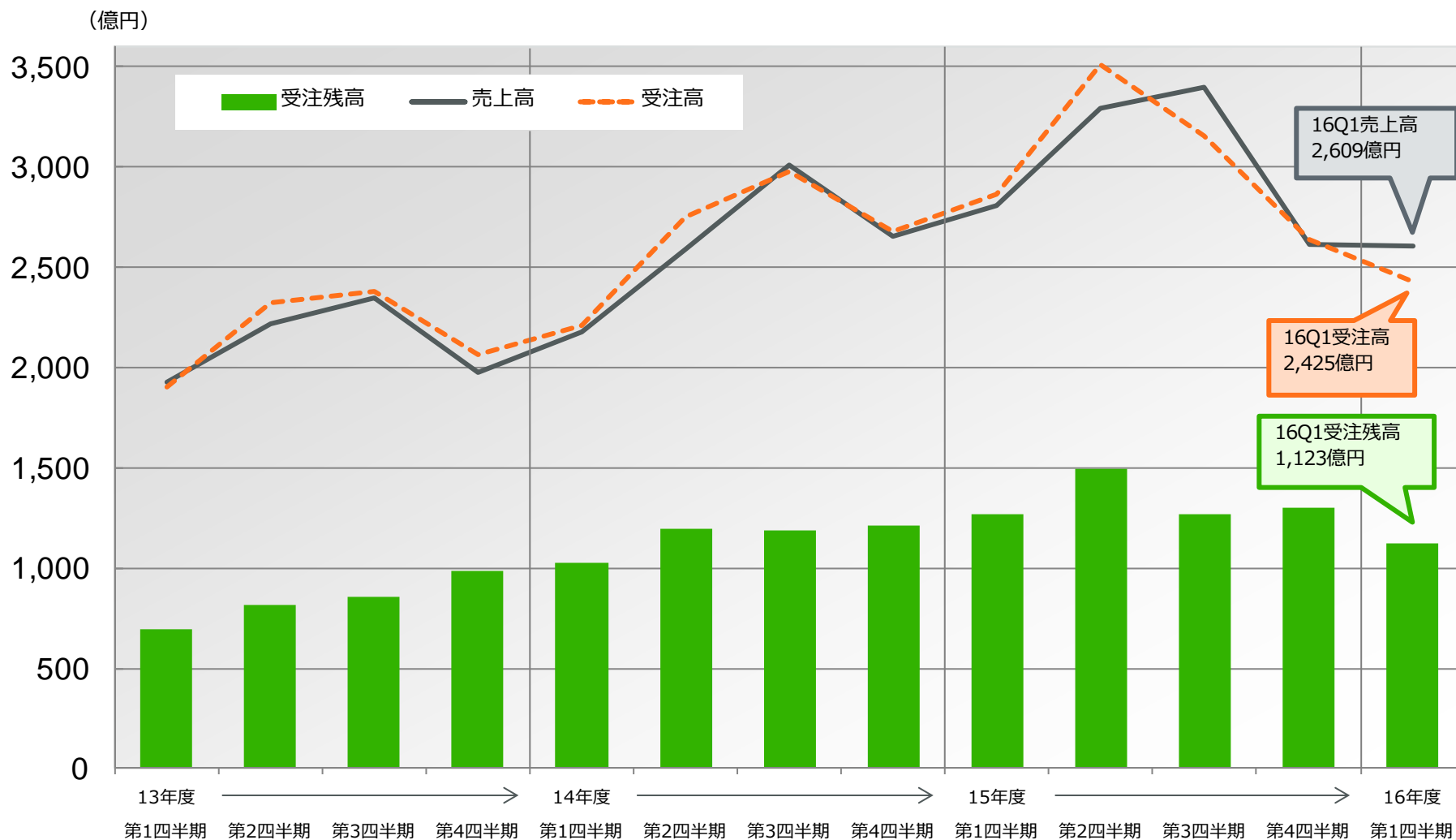


業績概況

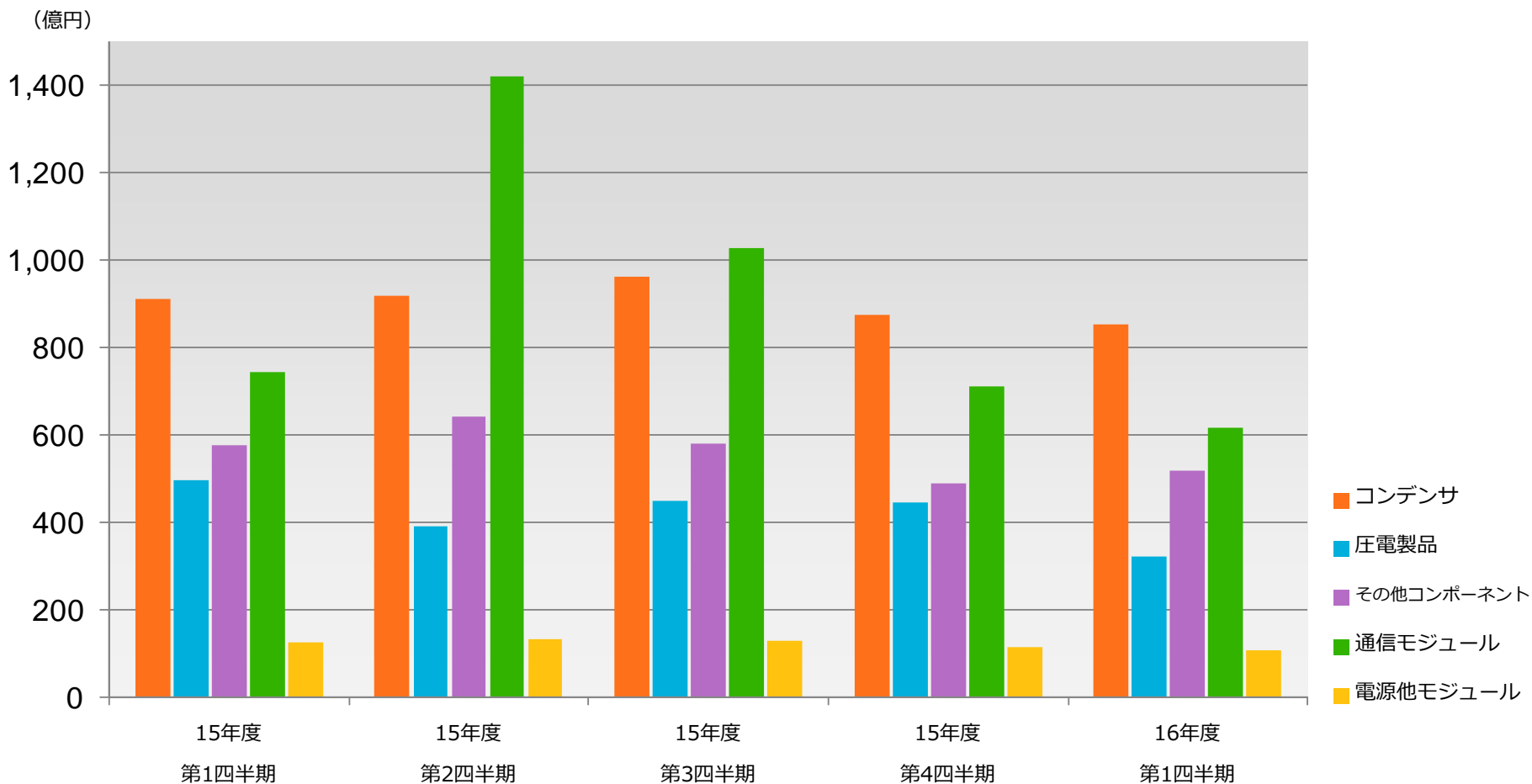
	2015年度 第1四半期		2015年度 第4四半期		2016年度 第1四半期		前年同期比 16Q1/15Q1		直近四半期比 16Q1/15Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	2,808	100.0	2,614	100.0	2,609	100.0	▲199	▲7.1	▲4	▲0.2
営業利益	640	22.8	400	15.3	487	18.7	▲153	▲23.9	+87	+21.8
税引前四半期純利益	650	23.1	392	15.0	502	19.2	▲148	▲22.8	+111	+28.2
当社株主に帰属する 四半期純利益	466	16.6	276	10.6	377	14.4	▲89	▲19.1	+100	+36.3

為替 (円/USD)	121.37	115.45	108.25
------------	--------	--------	--------

売上・受注・注残推移（四半期）



製品別受注高推移



製品別売上高

	2015年度 第1四半期		2015年度 第4四半期		2016年度 第1四半期		前年同期比 16Q1/15Q1		直近四半期比 16Q1/15Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	891	31.8	855	32.8	843	32.4	▲49	▲5.5	▲12	▲1.4
圧電製品	382	13.7	383	14.7	448	17.2	+65	+17.1	+65	+16.9
その他コンポーネント	566	20.2	485	18.6	508	19.5	▲58	▲10.2	+24	+4.9
通信モジュール	830	29.7	762	29.3	692	26.6	▲138	▲16.6	▲71	▲9.3
電源他モジュール	130	4.6	120	4.6	111	4.3	▲19	▲14.4	▲8	▲7.0
製品売上高計	2,800	100.0	2,604	100.0	2,601	100.0	▲198	▲7.1	▲3	▲0.1

製品別売上高概況

[2015年度第4四半期→2016年度第1四半期]

<p>コンデンサ (直近四半期比▲1.4%)</p>	<p>▲チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) カーエレクトロニクス向け、PC向けが増加したものの、円高の影響によりスマートフォン向けが減少</p>
<p>圧電商品 (直近四半期比+16.9%)</p>	<p>○表面波フィルタ 中華圏でのマルチバンド対応のLTE端末の生産台数増加により大きく増加</p>
<p>その他コンポーネント (直近四半期比+4.9%)</p>	<p>○コイル 高周波コイルがスマートフォン向けで増加 ▲コネクタ スマートフォン向けで減少</p>
<p>通信モジュール (直近四半期比▲9.3%)</p>	<p>▲近距離無線通信モジュール/通信機器用モジュール 円高の影響に加え、スマートフォン、タブレット端末向けで弊社製品搭載モデルの生産量が落ち込んだことにより減少</p>
<p>電源他モジュール (直近四半期比▲7.0%)</p>	<p>▲電源 OA機器が振るわず減少</p>

用途別売上高

	2015年度 第1四半期		2015年度 第4四半期		2016年度 第1四半期		前年同期比 16Q1/15Q1		直近四半期比 16Q1/15Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	118	4.2	102	3.9	107	4.1	▲11	▲9.6	+5	+4.9
通信	1,640	58.6	1,453	55.8	1,455	55.9	▲185	▲11.3	+2	+0.1
コンピュータ及び関連機器	392	14.0	386	14.8	378	14.5	▲15	▲3.7	▲8	▲2.2
カーエレクトロニクス	366	13.1	387	14.9	390	15.0	+24	+6.5	+3	+0.9
家電・その他	283	10.1	276	10.6	272	10.5	▲12	▲4.1	▲5	▲1.7
製品売上高計	2,800	100.0	2,604	100.0	2,601	100.0	▲198	▲7.1	▲3	▲0.1

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

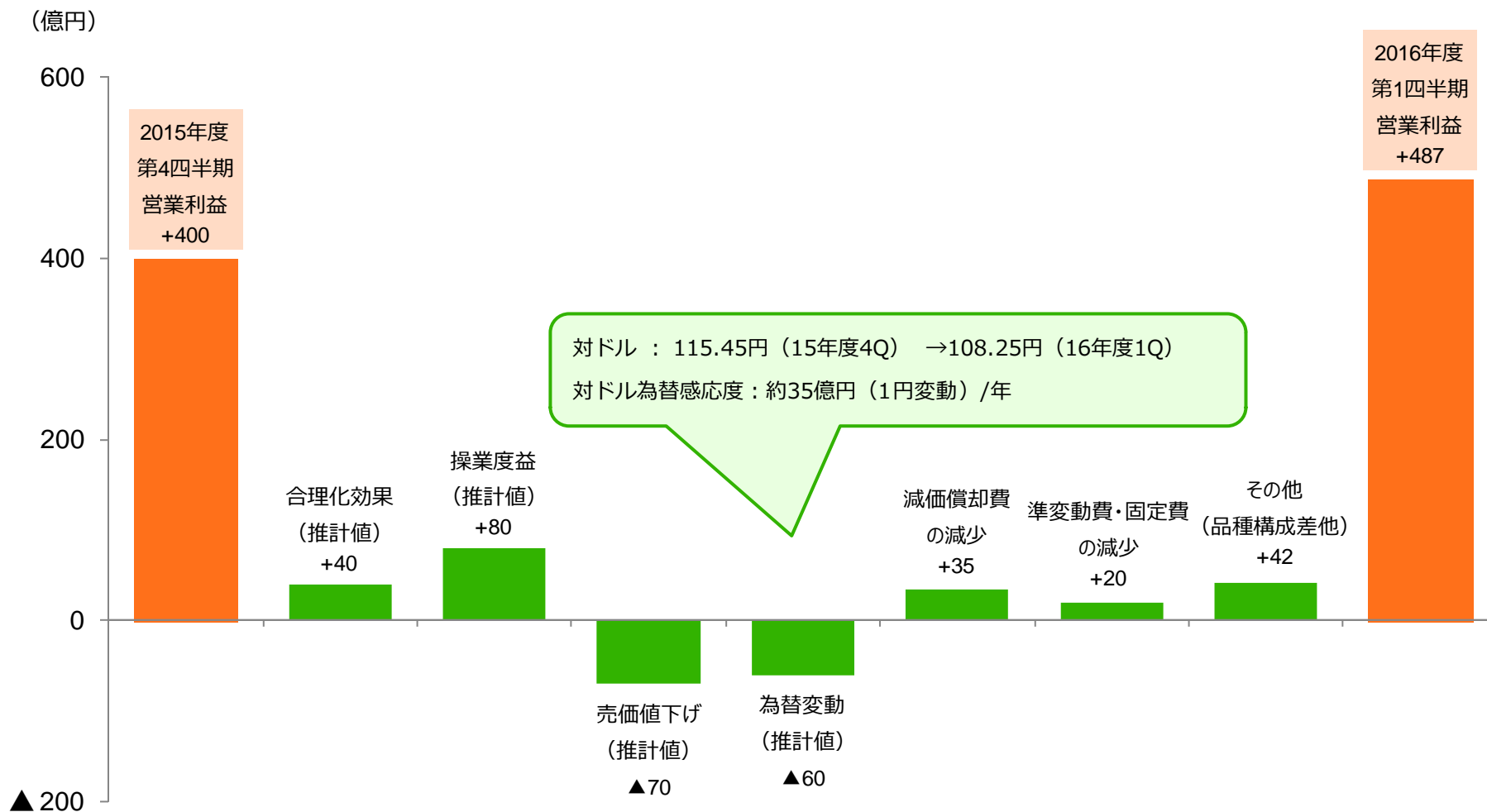
[2015年度第4四半期→2016年度第1四半期]

<p>AV (直近四半期比+4.9%)</p>	<p>○ゲーム機やセットトップボックス向けでMLCCが増加</p>
<p>通信 (直近四半期比+0.1%)</p>	<p>○中華圏スマートフォン向けに表面波フィルタが大きく伸長したほか、高周波コイルも大幅に増加</p> <p>▲円高の影響に加え、近距離無線通信モジュール、通信機器用モジュールが減少</p>
<p>コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比▲2.2%)</p>	<p>▲タブレット端末向けに近距離無線通信モジュールが落ち込む</p> <p>○HDD向けにショックセンサが好調</p>
<p>カーエレクトロニクス (直近四半期比+0.9%)</p>	<p>○電装化の進展で車載用MLCCが増加</p> <p>○安全装置(ESC)向けにMEMSセンサが増加</p> <p>▲カーナビ向けに電源が減少</p>

(注) 当社推計値に基づいております

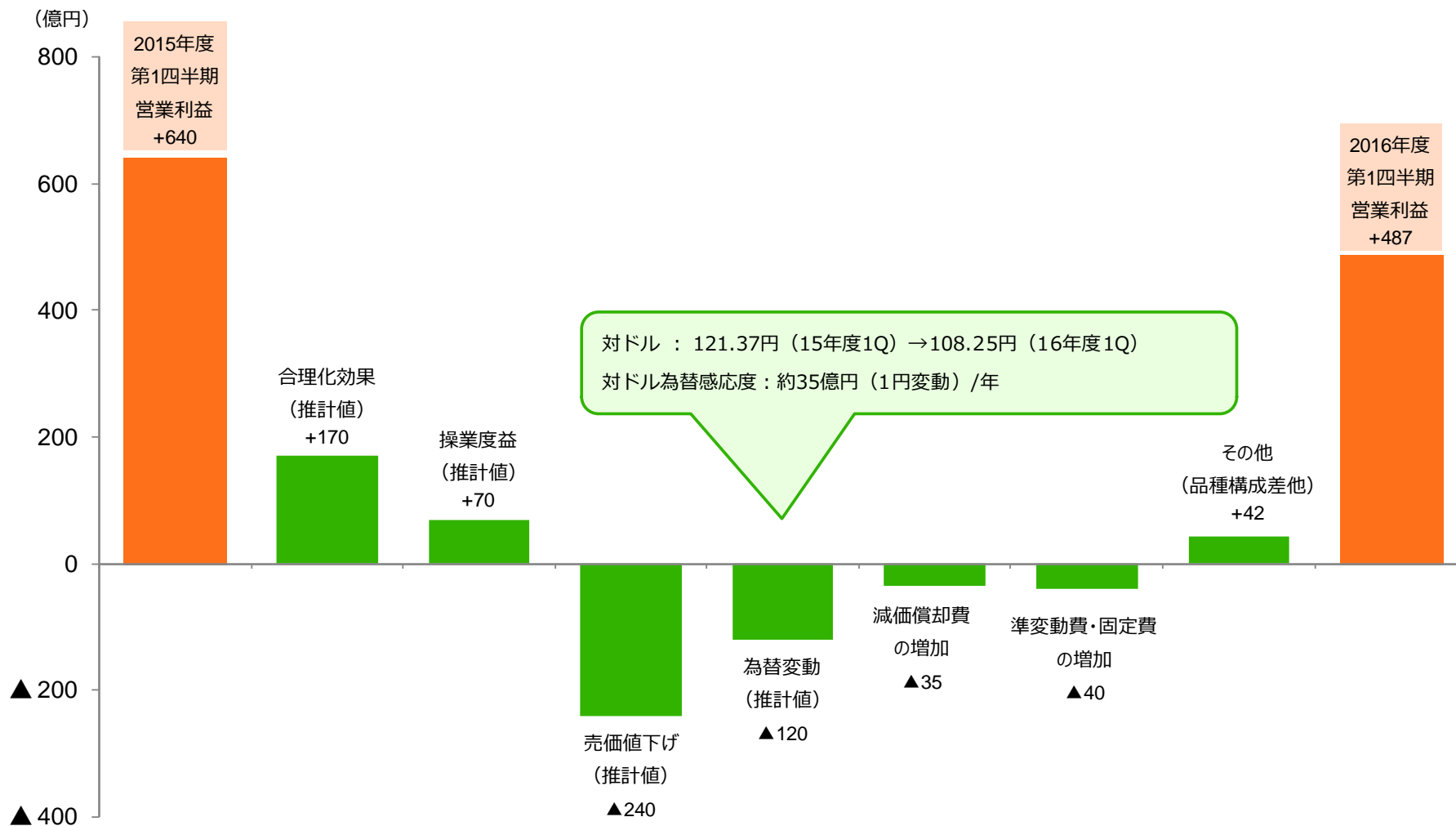
利益変動要因

[2015年度第4四半期→2016年度第1四半期]



利益変動要因

[2015年度第1四半期→2016年度第1四半期]



2. 2016年度 業績予想

(2016年4月～2017年3月)

2016年度 業績予想

	2015年度 実績		上期予想		2016年度 通期予想		増減	
			金額	構成比	金額	金額	金額	構成比
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	12,108	100.0	6,200	6,050	12,250	100.0	+142	+1.2
営業利益	2,754	22.7	1,250	1,150	2,400	19.6	▲354	▲12.9
税引前当期純利益	2,792	23.1	1,260	1,150	2,410	19.7	▲382	▲13.7
当期純利益	2,038	16.8	930	850	1,780	14.5	▲258	▲12.6

為替 (円/USD)	120.14		110.00	
------------	--------	--	--------	--

※ 4月公表値の見直しを行っておりません

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

